

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	放課後等の支援活動事業		所管課 【2】	生涯学習課	
			評価者(担当者)	鷺森 豊満	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり			
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実			
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)社会教育の推進			
<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】				
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】				
<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業				
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			】	款 10 項 5 目 1 細目 8

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	小学校低学年の児童が放課後の時間を活用した様々な体験や地域との交流活動を通じて、豊かな人間性を育む場の提供が必要である。また、地域コミュニティの活性化のために、地域と子どもの交流や学びあい活動を行う必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市内小学校の小学1年生及び2年生の児童
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	小学校の空き教室を利用した安心・安全な活動拠点を確保し、地域の大人が見守りを行うなかで地域との交流や学びあい場を設ける。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	小学校や地域に事業実施を呼びかけて、実施校区を決定し地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理人を務め、放課後児童の活動拠点としての支援活動を行う。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 放課後子ども教室推進事業 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金	66 %	270	566	534	558
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		136	286	267	279
	【16】 小 計		406	852	801	837	0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
職人 員 の 費	職員人工数	0.41	0.35	0.35	0.35		
	職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424		
	【17】 小 計	2,300	1,898	1,898	1,898		
合 計		2,706	2,750	2,699	2,735		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 放課後子ども教室推進事業	小学校の空き教室で放課後に地域住民により体験学習を実施する。	放課後子ども教室実施校数	校	2	3	3	3
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 放課後子ども教室賛同率	アンケート調査による保護者・児童・地域住民の賛同割合	%	100	100	100	100
			92	95	95	
2 放課後子ども教室参加児童数	教室参加を希望した児童の人数	人	80	60	100	100
			37	58	66	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市の実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	確実に変化している家庭や家族の生活環境の中、放課後の低学年児童の安全・安心な時間と場所が確保できなくなる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	現在開催している学校の現状維持と新規校での開催を行うために、学校・保護者・地域住民への十分な説明およびホームページおよび広報紙を活用した周知と協力者の確保について、今まで以上に積極的に行う。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	家庭環境や社会情勢など刻々と変化する社会において、地域コミュニティは低下の傾向にあるため、放課後の時間を活用した地域と児童の交流によって地域コミュニティの向上を図ることが必要不可欠である。そのため、現在実施している学校においては今後も継続していくことを目標とし、実施校数の拡充においては、ニーズを的確に把握するとともに、学校・地域・保護者の理解を得るための十分な説明や周知を行う。また広報紙等を活用した周知により協力者の確保に努める。
昨年からの見直し・改善状況【32】	各種会議等での周知の機会を積極的に増加させた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	スタッフ、ボランティアの方々の協力を得ながら子どもたちの体験・交流活動を行い、子どもたちにとって心豊かで健やかに育まれる環境づくりをするために、今後も放課後等の支援活動事業を推進する。	評価責任者 板倉 英一
------------------	--	----------------